



夢をかたちに
2008年～2009年度

Vol. 9
比国青少年育英会
バギオ基金

バギオ だより

2009年3月 第9号

☎162-0002
東京都新宿区坂町 5-2
鴨田ビル 301
TEL 03-5367-1937
FAX 03-5367-1938
E-mail baguiofund@eos.ocn.ne.jp

「台日ロータリー親善会議」とバギオ基金

バギオ基金 会長 前川 昭一



「台日ロータリー親善会議」御一行
故佐藤千壽 PG 墓前にて

佐藤パストガバナーは稀に見る教養人でした。日本の文化、中国の古典、欧米の学問に通じておられ、漢文も英文も原書で読んでおられました。又ロータリーにつきましても、大変な情熱を持って研究され、教育され、ご自身実践されました。そしてその成果を、「佐藤千壽全集12巻」として上梓されました。

佐藤パストガバナーを慕うのは、日本のロータリアンだけではありません。「お別れの会」には台湾から、17名のロータリアンとそこご家族が参加されました。その機会に、日台、台日合同のロータリー親善会議の幹事懇談会がもたれました。そこで「台日ロータリー親善会議」理事長の林士珍先生からバギオ基金の説明をせよとのご指示があり、私からお話したところ大変なご賛同を頂き、下記の方々から10万円ずつ計60万円ご寄付を頂きました。ここにお名前を記し、バギオに対するご理解と、我々に対するご友情に深甚なる感謝を申し上げたいと思います。この後、台湾側のたつてのご希望で、鎌倉にある佐藤邸に隣接する佐藤パストガバナーのお墓にお参りいたしました。

ご芳名は、林士珍PG 黄其光元RI副会長 謝三連現RI理事 頼崇賢PG 李翼文PG
台日国際扶輪親善会です。

今回ほどロータリーのご縁が有難いと思った事はありませんでした。感謝感謝です。

2007年2月、私は第28回バギオ訪問交流会に参加し、フィリピンを訪問。現地のロータリアンとも懇親を深めてきた。

「イカウ、ガヨン、マサヤカ。ワラン、プロブレマ? (あなたは今、幸せですが。何も問題はないですか?)」私はつたないタガログ語で聞いてみた。「幸せです。両親と一緒に住んでいるし、学校にも行かせてもらっています。」そんな会話を交わしながら、バギオ基金の奨学生3人と一緒にジープニー



(フィリピンで活躍する交通機関)に乗って家庭訪問に向かった。3人は15歳、18歳、19歳の女子学生であったが、片道1時間近い道のりを、毎日ジープニーで通っているという。

15歳のビバリー・バイヨンさんの家は急斜面を切り開いた所にあり、水道はなく、池かわき水から採水するのか、黒いパイプがつながっていた。床は私たちが座ったソファと古いテレビ、壁にはキリストの肖像画と卒業式のメダルだけ。ほかの二人の家も、ここと大差はなかった。

「何の問題も心配もない」という彼女らの明るく屈託のない言葉に、何をもって幸せなのか、という思いを抱き、同時に大きな価値観の相違を考えさせられた。

フィリピンは政治・経済の改革が進んだとはいえ、相変わらず貧しい国の一つであろう。願わくば、一人でも多くのロータリアンが基金に賛同し、向学心に燃えた子どもたちに教育の機会を与えてほしい。それこそ、われわれに与えられた責務ではなかろうか、と痛感した。

(第2600地区 長野県)

●バギオ基金トピックス

○第3回副会長会の開催

2009年2月24日に弘済会館に於いて開催。経過報告及び上半期会計報告の後、一般財団法人 比国育英会バギオ基金の設立に関して承認された。

○第30回バギオ訪問結団式

第3回副会長会の後、バギオ基金役員を含む参加者30名のご出席を得て開催した。

○今後の予定 2009年3月24日 バギオ基金第50回理事会・第18回定期評議員会開催

●バギオ基金へのご協力に感謝いたします

◇RC創立周年記念寄付を頂きました

2/12 那覇 RC 創立 50 周年記念寄付

◇維持後援者新規加入

2/9 長泉 RC 中村 友信 様 Dフェロー

2/13 鹿屋 RC 田中 俊實 様 Sフェロー

◇後援クラブ

東京武蔵野 RC

那覇 RC

東京中央新 RC

◇後援者 (個人、法人、推薦)

東京臨海 RC

東京西北 RC

東京豊島東 RC

東京城西 RC

東京港南 RC

5名

1名

7名

1名

1名

富士見 RC

長泉 RC

広島南 RC

鹿屋 RC

1名

1名

1名

1名